

## 当社加古川製鉄所における微量 PCB 含有油および微量 PCB 含有油付着トランスの誤出荷について

平成 25 年 6 月 19 日に当社加古川製鉄所におきまして、微量 PCB 含有油を不含油と誤った認識のもと抜き取り、他の不含油と混合した状態で出荷していたことが判明しました。そうしたことから追跡調査を進め、並行して平成 17 年以降の実績について調査を行った所、平成 22 年 3 月にも微量 PCB 含有油およびトランス本体を誤って出荷していたことが判りました。

これらの事象につき調査を進め、この程環境への影響が無いことを確認致しましたので、東播磨県民局に報告を致しました。その内容について以下に掲示いたします。

このような事象を発生させ誠に申し訳なく深くお詫び申し上げます。今後再発防止策を徹底し管理を強化してまいります。

### 1. 原因

平成 22 年分についてはトランスの更新工事を行った際、他のトランスの分析結果の書類と取り違え、誤って不含と認識していました。平成 25 年分については、微量 PCB 含有油を不含油と誤った認識のもと抜き取り、他の不含油と混合した状態で出荷しておりました。いずれも、出荷する際に微量 PCB の分析結果の書面と現物との照合確認ができていなかったことが原因です。

### 2. 誤出荷の内容

#### (1) 平成 22 年 3 月

- ・微量 PCB 含有絶縁油：2,065kg 微量 PCB 濃度：6.8mg/kg (基準値：0.5mg/kg 以下)
- ・微量 PCB 含有絶縁油 2.8kg が本体底に残存、本体内壁に 0.9kg が付着したトランス： 912kg
- ・微量 PCB 含有絶縁油 8.6kg が本体底に残存、本体内壁に 1.6kg が付着したトランス：1,611kg

#### (2) 平成 25 年 6 月

- ・微量 PCB 含有絶縁油：1,118kg 微量 PCB 濃度：5.8mg/kg (基準値：0.5mg/kg 以下)
- ・トランス本体の出荷なし

### 3. 追跡調査結果

微量 PCB 含有油を再生油業者に出荷し先方のタンクに給油いたしました。先方のタンクでさらに他の不含油と混合されました。結果、基準値以下の濃度となった状態で再生油ユーザーへ出荷されました。現況調査として再生油業者の受入れタンク内液を分析したところ、PCB は検出されませんでした。

スクラップ業者に出荷したトランス本体については、本体底に残存していた油はスクラップ業者において回収されて他の不含油と混合されました。結果、基準値以下の濃度となった状態で再生油業者に出荷されました。トランス本体内壁の付着油は解体後付着した状態で出荷され、その後高温下で処理され無害化されたと考えております。現況調査としてスクラップ業者の敷地内にある 3ヶ所の雨水排水溝内のたまり水を分析した結果、いずれも水質汚濁防止法の規制値以下でした。

上記の様に、PCB 含有油については混合された状態で出荷されたこと、トランス本体付着油については高温下で処理されたと考えており、環境への影響はないものと考えております。

### 4. 再発防止策

今後、このような事象が発生しないよう下記の再発防止策を標準化して教育し管理強化を図ってまいります。

- (1) 置場に保管する時点で未分析機器に「PCB 未分析 抜油禁止」の表示を新たに義務付ける。
- (2) 置場の機器の表示を確認するため新たに台帳を作成し、毎月現物チェックする。
- (3) 油、トランス本体引き取り時に他機器との取り違いを防止するため、必ず担当者は現地立会い時に表示、分析結果の書面と現物の照合確認を実施する。
- (4) 出荷前の決済申請伝票に機器の製造番号を追記し、新たに分析結果の写しと機器の製造番号記載の銘板写真を添付して申請、上司は決済時に現物照合確認の確実な実施を添付資料を見てチェックする。
- (5) 環境管理部門は上記の確実な履行をチェックする。